

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 月・4	必修選択 必修	単位数 1 単位
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーション III (English Communication III)		
対象年次 2 年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	2Ti	科目分類 外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 担当教員: 大坪 有実 /Eメールアドレス:r_otsubo@hotmail.co.jp /研究室: 非常勤講師室 /TEL:095-819-2079 /オフィシアワー: 水曜日 12:00~12:50			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 音楽の影響、食をめぐる異文化交流、インターネットなど幅広い内容を取り扱ったテキストを用い、リーディングを通して自分の考えを表現するために必要な英語力を養成することをねらいとする。 授業方法: 読む、書く、聞く、話す の4技能の中で、特に読む、書くという2つの技能に重点を置く。  授業到達目標: テキストの各トピックについて、何が話題になっているのかを正確に理解、分析し、自分の意見がしっかりと述べられる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 一回の授業で1Chapter 進みます。授業の前半は文法項目に触れながら、正確に英文を読解していきます。 その後、理解度の確認として T/F 問題、ならべかえ問題、応用問題を解きます。 最後に、各トピックで皆さんがどのように感じたか意見交換をしてもらいます。  第1回 教科書販売・Introduction 第2回 Music Hath Charms to Soothe a Savage Miso 第3回 In the Kitchen-Cultural Clashes in Britain 第4回 Nostalgia not Limited to the Silver Screen 第5回 Like Yikes! - A Misunderstood Word 第6回 New Internet Tactics Needed: Business face challenge in Web galaxy 第7回 I Am a Cat 第8回 Circus Antics Bring Jews 第9回 When RED Means Stop 第10回 The Noh Plays of Japan 第11回 Is Modern Art Really Art? 第12回 Christmas Warrior 第13回 Japanese Consumers Required to Change Wasteful Eating Habits 第14回 Can we use waste for energy? 第15回 全授業の総括(試験含む)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	What Should We Think About? Reading & Writing 表現力を磨くためのリーディング&英作文 (松柏社) 1900 円+税		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60% 授業中の課題に対する積極的な取り組み 40%		
受講要件(履修条件)	授業の3分の1以上の欠席で試験受験資格を失います。 欠席等の扱いについては学生便覧に書いてある指示に従ってください。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)	必ず予習して授業に臨むこと。 授業には必ず辞書を持ってくること。		